



人はみな、
生かされて
生きてゆく。



Four-Leaves

よつば

56号

2025
DEC

発行：越谷地区保護司会／令和7年12月1日
会長 川島 衛



長野刑務所

「バトンをつなぐ」

長野刑務所長 中道 徹

本年六月一日、刑法が約一〇〇年ぶりに一部改正され「拘禁刑」が始まりました。受刑者一人一人の特性に応じ、きめの細かい処遇を行うことを目的としています。

これまでの「懲役刑」で義務であった刑務作業が「拘禁刑」下では義務ではなく、一人一人の受刑者が必要としている各種作業や指導、そして教育をより柔軟に行うことができるようになりました。

また、刑務官、法務教官、心理専門職だけではなく、医療従事者、社会福祉士、作業療法士、就労支援専門官、福祉専門官、処遇カウンセラーなど、多職種により、それぞれの専門的知見を活かし、連携して質の高い処遇を行うことが求められています。

一方で受刑者は、当然のことですが、刑期が終了すれば、「社会の中」に帰っていきます。

刑務所では様々な作業や教育・指導等を通じて受刑者がスムーズに「社会の中」に帰り、健全な社会の一員として生活することを目指していますが、我々が処遇できるのは「塀の中」でしかありません。受刑者が一歩、「社会の中」に踏み出すと、我々はそこから先は一切関与することができません。

そこで我々は、「社会の中」で受刑者の立ち直りを支えてくださる保護司の皆様を思いを託してバトンをつなぎます。保護司の皆様方におかれましては、日々、様々なご苦労があることと思いますが、再犯防止という共通のゴールを目指して一緒に前進していきたいと考えております。

我々は、これからも皆様方にしっかりとバトンを手渡していきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

令和七年度春の受彰者紹介

(敬称略)

★おめでとうございませす 瑞宝双光章



山越博子(越谷支部会)

この度、栄えある春の叙勲を賜り大変恐縮しております。

これも偏に保護司会の皆様と共に活動してきた方々のご指導やご鞭撻の賜物と深く感謝を申し上げます。

平成10年12月に拝命し、保護司の皆様をはじめ更生保護活動に携わる数多くの方たちとの出会いの中で、多くのことを知り、学ぶことができたと感じております。特に3人の子供の子育てと重なっていたので、担当する方やご家族から学ぶことが多く、沢山のことを考えさせてもらえた、と思っております。全てのこと

が尊い経験です。今回の受彰を機にさらに研鑽に励み、これからも、社会とまではいなくても、誰かのために、何かのお役に立てればと思っております。

令和七年度秋の受彰者紹介

(敬称略)

★おめでとうございませす 藍綬褒章

進道光之助(吉川支部会)

次号にて改めて紹介させていただきます。

法務大臣表彰

金森重治(越谷支部会)



は、当時連合自治会長をしていただいた人の推薦です。仲間もでき辞めきれず今日を迎えております。家で面接して

ますが、皆、何らかの形で貧困を背負い込んでいられる事を感じていました。街の外観はよくなりましたが、私達が実際に生きて行かなければならない社会は悪くなっていると思えます。民主主義と言う形を創って来たのに、誰のための制度かはつきりしません。社会の中で保護司の必要性は増して行くものと思えますが、まずは、皆様ご自身の健康に留意され励んで往かれる事を祈ります。

内田和夫(三郷支部会)



令和7年度更生保護大会に於いて法務大臣表彰を頂き身に残る思い出です。保護司拝命してから現在まで、自分は、まだ保護司をしていて良いのだろうか”と自問しています。これは私の弱さだと思

います。そんな私ですが、初めて担当した対象者について今でもはつきり覚えて

います。当時、担当の観察官に、かなりの御迷惑をかけてしまい、それ以降気を付けているのですが未だに己の未熟さに思い知らされている状況です。今後の活動時間は少ないですが、一つ一つ出来る事をやって行こうと思えます。

木田好枝(松伏支部会)



このたび、保護司活動に対し、法務大臣表彰をいただきま

した。思いがけないことで、身に余る光栄に驚いております。これまで活動を続けられてこられたのも、関係機関の方々、そして保護司仲間の先輩、保護司の皆さまのおかげと、心から感謝しています。

多くの出会いや経験を通して、人と人とのつながりの大切さを改めて感じております。これからも初心を忘れず対象者に寄り添いながら少しでも力になれるよう努めてまいりたいと思えます。今後ともよろしくお願いたします。

全国保護司連盟理事長表彰

津島英世(吉川支部会)



平成18年5月に保護司を拝命し、当日、対象者の書類を渡さ

れた3名のなかの一人となり、これから毎月面談に入るのかと不安と緊張でスタートしました。

それから毎年1〜4名の対象者を受け持ち、今日まで至りました。

振り返ってみると色々の事案があり、皆、無事社会復帰されていると思えます。

今年20年目を迎え、もう少し定年まで更生活動を続けたいと思っております。今後共にご指導ご支援賜りますようお願い申し上げます。

桑原 巡(松伏支部会)



この度は、全国保護司連盟理事長表彰を頂き身にあまる光

栄と存じます。保護司拝命した頃、職場から自宅に帰ると一通の茶封筒が保護観察所から届いておりました。重苦しい気持ちで開封すると環境調整の依頼でした。早速、新任研修で配付された分厚い手引書を再読したが、初めての経験だけに要領を得ず、先輩保護司に助言を頂き初仕事を終わらせることができました。

このように、先輩保護司や多くの関係者の皆様からご指導を頂きましたこと心から感謝申し上げます。

関東地方更生保護委員会委員長表彰

(越谷支部会)

会田容子・秋谷正和

(三郷支部会)

大野祐肇・小林豊代子

(吉川支部会)

西村 穰

(松伏支部会)

柿沼昌弘・篠田俊教

(三郷支部会)

戸張計子

(吉川支部会)

里見純庸

(松伏支部会)

浅古高志・栗原和紀

(越谷支部会)

筒野貞夫・平林次男

(三郷支部会)

道言 薫

(吉川支部会)

加藤陽寿

(越谷支部会)

野口和幸・荒井隆之

(三郷支部会)

田村充行・小日向弘明

(吉川支部会)

澤幡智史

(三郷支部会)

中田智巳・平間浩幸

(吉川支部会)

豊田明美

さいたま保護観察所長表彰

(越谷支部会)

田村充行・小日向弘明

(三郷支部会)

澤幡智史

(吉川支部会)

中田智巳・平間浩幸

(三郷支部会)

豊田明美

埼玉県保護司会連合会長表彰
(越谷支部会) 若田範之・朝比奈裕之
清村勝之

(吉川支部会) 萩原 亮

埼玉県知事感謝状

(越谷支部会) 川島 衛・松澤幸子

(吉川支部会) 羽角行雄

埼玉県保護司会連合会長感謝状

(越谷市職員) 白井正俊

(三郷市職員) 本間大史

埼玉県社会福祉大会会長表彰

(三郷支部会) 大山宏尚

(吉川支部会) 松澤 正

第72回埼玉県更生保護大会

11月27日(木)、戸田市文化会館において第72回埼玉県更生保護大会が開催されました。

開会后、先ず金管アンサンブルの素晴らしい演奏が披露されました。

次に式典が始まり、叙勲・褒章受章者及び保護司特別功労章の披露、功労者の顕彰と続き、受章者代表謝辞、ご来賓祝辞となり式典は無事終了いたしました。

表彰された皆様おめでとうございます。



埼玉県保護司会連合会長による式辞



金管アンサンブル演奏

◎新任保護司紹介(敬称略)

(令和7年12月1日付)



高橋 洋一(越谷支部会)
「精力善用 自他共栄」



深井 匡一(吉川支部会)
「何事も適当なくらいがちょうどいい」



山崎 純子(松伏支部会)
「和気兆豊年」

◎退任保護司紹介(敬称略)

永年のご尽力有難うございました。
(令和7年11月30日付)

○染谷 豊(越谷支部会)
平成31年秋 瑞宝双光章

○羽角 行雄(吉川支部会)
令和7年 埼玉県知事感謝状

保護司会功保会合同親睦会

9月25日(木)橋本家レイクタウン店に於いて、保護司会30名・功保会18名の出席のもと、合同親睦会が行われました。

第1部は植竹初江功保会越谷支部長のご挨拶に続き越谷市消防局の予防課蓮見様・救急課松澤様より「火災予防」「救急車の適正利用」についての講演がありました。○×形式で楽しみながら、消防・救急について学ぶ事ができました。



第II部は、岡本章功保会越谷副支部長の乾杯で懇親会がスタート。懇談や久々のカラオケ等、和気あいあいとした時間の中、現旧保護司で親睦を深める場となりました。

令和7年度第1期地域別定期研修

○日時 令和7年6月6日(金)

○会場 増林地区センター

○テーマ 「持続可能な保護司制度の確立に向けた検討会の報告と今後の対応について」

講師にさいたま保護観察所の長瀬聡子保護観察官をお迎えし、出席者75名で研修が開催されました。

講義

(1) 「持続可能な保護司制度の確立に向けた検討会」の論点

① 推薦・委嘱の手順、年齢条件

② 職務内容の在り方、保護観察官との協働態勢の強化

③ 待遇、活動環境

④ 保護司の使命

⑤ 保護司の安全確保

(2) 「持続可能な保護司制度の確立に向けた検討会」検討結果

今回の研修は、この検討会で協議された内容とその検討結果を受けて今後保護司としての活動等

について何が変わるのか、変わる可能性があるのかを御理解いただくことを目的として行います。最後に質疑、応答で終了しました。



令和7年度第II期地域別定期研修

○日時 令和7年7月25日(金)

○会場 三郷市役所7階大会議室

○テーマ 良好措置・不良措置について

○講師 長瀬聡子保護観察官

森本剛一郎保護観察官

保護観察対象者の状況に即して良好措置・不良措置を適時適切に行うことにより、対象者の改善更生と再犯・再非行の防止に資するよう、保護司として留意すべき事項について学ぶことをねらいとして開催されました。

はじめに長瀬保護観察官より、良好措置・不良措置の種類や判断基準、生活実態の把握の具体的な方法や保護観察所への報告について講義をいただきました。続いて8名前後のグループに分かれ、良好措置・不良措置の2つのケースについての事例検討を行いました。良好措置についてのケースでは、頻回転職の状況にある対象者への働きかけを、不良措置については、数日前から帰宅しなくなった薬物事犯の対象者への対応を検討しました。

各事例についての発表ののち、長瀬・森本両保護観察官よりご助言をいただきました。『就労』の捉えかたの変化についての発表もあり、多くのことを学びました。「慎重かつ時機を失うことのないよう」という言葉を強く心に刻んだ研修でした。
(参加人数65名)



県外矯正施設視察研修

令和7年11月18日～19日

長野刑務所を視察して

吉川支部会 岡田 宏美

11月18日(火) 保護司会及び行政の方々25名で長野刑務所を視察。まず、所長から刑務所の概要について伺いました。所内視察の際はインカムを着装。所長と離れてもスムーズに説明を聞く事ができました。

明治4年、信濃の国善光寺領箱清水に徒刑場を設置。65年前の昭和35年4月、須坂市に移転。収容定員は1,229名。視察日現在684名(拘禁刑16名を含む)を収容。年齢は22歳～89歳で平均年齢は約48歳。主に再犯リスクが比較的低い、執行すべき刑期が10年未満の日本人男性受刑者が収容されています。

「刑務所は社会の縮図と言われている」との言葉がありました。正にその通りでした。人権に配慮した処遇が散見されました。冷暖房が完備された室内。呼称は名前に「さん」付け。刑務官の事は「担当さん、職員さん」と呼ぶ。集団行進は軍隊のようだと廃止。高齢化に伴い、介護の必要な受刑者のために車椅子や紙オムツが用意され、介護食の提供もありました。

本年6月に施行された拘禁刑は従来の『懲らしめ』から『立ち直り』を重視した処遇となりました。再犯防止の新しい取り組みに感銘を受けた視察となりました。



法務少年支援センターを視察して

越谷支部会 秋谷 正和

更生保護活動において非行の未然防止という視点を深めるため、法務少年支援センターの視察をしました。少年たちに贈られた「心を正すこと易し」とは、自分自身の内面を見つめ直し正直になること。そうすれば誰でも正しい道へ戻ることができるといふ励ましの言葉なのです。

センターでは、非行化する芽を摘むための専門的な心理相談や助言が、本人や保護者、学校教諭に対し行われていることを知りました。犯罪や非行に至る手前の段階で、専門家による傾聴と介入が、その後の人生を大きく左右することを実感しました。

この学びは、保護観察活動が事後的な支援であるのに対し、「予防」という視点を常に持ち、地域における問題の早期発見・早期対応の重要性を私たちに教えてくれました。

真剣な学びを終えた後、宿での懇親会では、お酒を酌み交わし、胸襟を開いて語り合う貴重な場でした。普段はなかなか話す機会のない地域の保護司の方々と、活動や経験、苦労を分かち合うことで、仲間としての連帯感が、より一層深まったと感じています。困難を伴う保護司活動を継続していく上での強固な基盤です。

今回の研修で得た「予防」という視点の重要性」と「活動を支え合う強固な仲間との絆」を力に、今後も保護司の使命である「世論の啓発」と「地域社会の浄化」に積極的に尽力していく所存です。



作文コンテスト地区選考会

今年度から「社会を明るくする運動」作文コンテストの選考会が、地区に移行されました。

9月18日(木)越谷市中央市民会館5階にて、16人の担当者が集合し、審査が行われました。越谷、三郷、吉川、松伏の各支部から選ばれた45作品全てを担当者が読みながら、選考にあたり、静かに集中した時間が流れました。

四地域支援ネットワーク合同自主研修

- 日時 令和7年9月24日(木)
- 会場 越谷市中央市民会館 劇場
- 『記憶2』上映会

参加する団体・職員向けに「更生保護に関する理解を深めていただくための映画上映会」で、5年に及ぶ少年院・少年たちのドキュメンタリー映画です。

保護司、更生保護女性会、民生委員・児童委員、役所職員、社会福祉協議会等222名の方に参加していただくことができました。



猪間さいたま保護観察所長ごあいさつ

越谷支部会

◆越谷市地域安全推進大会について

第31回越谷市地域安全推進大会が10月16日(木)に越谷コミュニティセンター小ホールにて開催され、秋谷正和・会田容子・大野祐肇・西村穰・小林豊代子保護司5名が地域安全功労者として表彰されました。

◆越谷市民まつりについて

第50回越谷市民まつりが9月28日(日)に晴天のもと、越谷市役所及び中央市民会館周辺の2箇所で開催されました。越谷支部会も「社会を明るくする運動」の啓発活動、薬物乱用防止の啓発活動」をテーマに啓発グッズ等を配布しました。



◆越谷支部会の自主研修について

令和8年2月上旬に矯正施設視察研修を予定しております。

◆越谷支部会では、令和7年9月10日(水)に埼玉県作文コンテストの選考会を実施いたしました。

小学校10校103作品・中学校5校18作品の応募があり、小学校11作品・中学校8作品が最終選考会に出されました。

三郷支部会

◆「社会を明るくする運動」

7月4日(金)から11日(金)まで各中学校1日ずつ「朝のあいさつ運動」が行われました。

◆街頭啓発活動

市内一斉啓発活動を6月26日(木)ピアラシティ及び新三郷駅、翌27日(金)三郷駅及び三郷中央駅において行いました。

◆10月11日(土)「ミサトスタイル2025」(会場)におどり公園

開催されましたが、実施予定であった薬物乱用防止及び社会を明るくする運動の啓発活動は雨天のため中止となりました。

◆第1回支部自主研修会

8月22日(金)三郷市役所大会議室において開催されました。研修内容は「保護司・更生保護女性会の役割と更生の支援について」をテーマに行いました。昨年度同様に更生保護女性会の方々にも参加していただき、保護司・更生保護女性会の代表者発表後グループに分かれて意見交換を行う等有意義な研修会となりました。

◆埼玉県作文コンテスト選考会

9月1日(月)三郷市健康福祉会館会議室において開催されました。当日は18名の保護司が出席しましたが初めてのことであり各自戸惑いながらも熟読し、最終的に小学生8作品、中学生5作品を選定しました。

吉川支部会

◆第75回「社会を明るくする運動」埼玉県作文コンテスト選考会

本年から初めてとなる支部による選考は、9月6日(土)に第1回選考会を開催しました。保護司・行政・教育委員会・更生保護女性会が一体となって進められ、選考委員9名は多角的な視点から、慎重に選考した作品9点を越谷地区会へと送り出しました。

◆選考委員

からは、作文を読んで応募者の皆さんの想いに触れ、感動しましたとの感想が聞かれました。

◆定期駐在日における処遇会議開催

10月15日(水)吉川市中央公民館会議室において、森本保護観察官においでいただき、定期駐在日に併せて処遇会議を開催しました。平素か



当している個々の事例にどのような対応したらよいかの質問に、観察官からの的確な示唆があり、今後の参考になりました。

松伏支部会

◆「社会を明るくする運動」

7月3日(木)、10日(木)

保護司会と更生保護女性会による町内街頭広報活動を行いました。

◆社会を明るくする町民の集い

7月17日(木)松伏町田園ホールエロラにおいて「令和7年度松伏町人権セミナー」と共催で開催しました。内閣総理大臣メッセージの読み上げ及び更生保護活動に関するDVDの上映を行い、更生保護活動の周知を行いました。



○小中高等学校訪問

担当保護司が町内の小中高等学校を訪問し、社明運動の趣旨説明及び情報交換を行いました。

○埼玉県作文コンテストの選考

町内5校から応募された作文について、松伏町青少年健全育成協議会が事前選考を行い、その中から4作品を越谷地区会へ推薦しました。

◆更生保護女性会との合同研修

保護司会と更生保護女性会では、10月7日(火)に大宮造幣局、川越歴史地区、川越少年刑務所の視察研修を行いました。会員相互の情報交換と親睦を深め有意義な一日を過ごしました。

令和7年度関東地方保護司 代表者協議会

10月2日(木)「ホテルブリランテ武蔵野」において開催され、会場には、関東地方更生保護委員会委員長、当委員会管内である1都9県の保護司会連合会会長や関係事務理事など、123名が参加しました。

川島会長が「越谷市地域支援ネットワークにおける連携事例紹介」と題した講演を行い、参加者から大好評を得ることができました。
(越谷市福祉総務課 細谷 真里)



敬 弔



越谷支部会
野田 和子さん(71歳)

かねてから病氣療養中でありましたが10月18日に逝去されました。平成23年5月25日付で拜命後、令和2年に関東地方更生保護委員会委員長表彰を受彰され、令和6年から理事に就任し、保護司会の発展に尽力されました。ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。尚、同日付で法務大臣感謝状が授与されました。

部会の主な活動報告

総務部会

- ・7月16日 会議(12名)
- ・功保会との合同親睦会について
- ・9月25日 功保会との合同親睦会を橋本家レイクタウンにて開催(保護司30名・功保会18名)

厚生文化部会

- ・7月17日・9月22日・10月27日 県外研修の打ち合わせ
- ・11月18日・19日 県外研修実施

犯罪予防部会

- ・6月9日 会議上半期の活動について
- ・11月11日 会議下半期の活動について

広報部会

- ・「よつば」56号に向けて
- ・10月14日全体会(12名)
- ・11月4日・11月21日・25日編集会議

薬物乱用防止指導員(敬称略)

春日部保健所管内

川島 衛(会長)・葛貫英雄

本間ひろみ・会田 隆

草加保健所管内

今野和夫(副会長)・豊田正一

加藤陽寿・豊田明美

*薬物事案でお困りの方は遠慮なくご相談ください。

ご利用ください

下記の用紙・封筒がサボセンにあります。

- 1.保護観察経過報告書(甲)
- 2.連絡カード
- 3.定型封筒(宛名…保護観察所)
- 4.定型封筒(越谷地区保護司会…差出人)
- 5.定型外封筒(大)

★事務局報告★

◎第72回埼玉県更生保護大会

・令和7年11月27日(木) 戸田市文化会館

◎新任保護司辞令伝達式・研修会

・令和7年12月1日(火) 3名

◎第三期地域別定例研修

・令和7年12月12日(金)

◎「関係書類の見方・書き方について」会場 吉川市役所3階会議室

◎令和8年新年会・受彰者祝賀会

◎退任保護司慰労会

◎令和8年1月23日(金)吉川福寿家

◎令和7年度自主研修

・令和8年2月20日(金)

◎会場 増林地区センター

◎サポートセンター企画調整保護司

と新任保護司との意見交換会

・令和8年3月予定

◎越谷市中央市民会館会議室

更生保護サポートセンターの来所状況

令和7年度

来所者	4	5	6	7	8	9	10	合計
保護司	64	85	114	90	49	162	86	650
対象者	6	4	5	7	5	9	6	42
観察所	2	1	1	4	2	7	3	20
行政関係	4	15	6	9	8	12	3	57
関係団体	16	3	1	11	0	2	2	35
その他	4	11	9	6	2	10	6	48
合計	96	119	136	127	66	202	106	852

- ・更生保護サポートセンターには、ベテランの企画調整保護司が常駐しております。
- ・悩み、相談事が御座いましたらお寄り下さい。

あとがき

JR武蔵野線の電車内での体験です。車内は平日の昼にもかわらないうるが混んでいましたが、優先席に空きがあったのでその席に座りました。隣りには20歳代の若い青年。千葉県内のある駅で、足の不自由な初老の男性が乗車。丁度若い青年の前に立ち辛そうだった。しかし青年はスマホに夢中。私が立ち上がり初老の方に席を譲りました。それに気づいた青年は気が付かなく申し訳ないと思っただのか、照れ笑いを浮かべながら「どうぞ」と私に言いドア付近に移動。爽やかで感じのいい青年だった。 羽角 行雄

広報部会員

19名

- 部会長 中里芳子
- 副部会長 柿沼昌弘 澤登真珠枝 谷口久子
- 部会員 上杉洋一 林 澄子 篠田道子
- 会田容子 小林豊代子 横川宏美
- 荒井隆之 志村佳重 橘 翔吾
- 鶴岡勝義 内田弘昌 平間浩幸
- 河野真美 岡田宏美 荒井孝子

研修会等

出欠席の連絡はこちらに

◎越谷地区更生保護サポートセンター
〒343-0813
越谷市越ヶ谷四丁目1番1号
越谷市中央市民会館 4階 第1相談室
電話&Fax : 048-967-1671
E-mail :
kosigayahogosikai@herb.ocn.ne.jp